

マジックナンバーで編むベスト

<デザイン> リンダ アレグラ
<デザイン編集・編み図監修> 田畑真代



<できあがり寸法> (置き寸) 胸囲：約110cm 着丈：約64cm

<使用毛糸>

毛糸名	色	No.	g数	玉数
マジックナンバー	Lブラウン×茶×オレンジ	61-635	165g	2玉
	Lブラウン	61-638	100g	1玉

<使用道具>

クロバー編み針「匠」 2本針12号、13号
クロバーかぎ針 6/0号、10/0号
とじ針
目数リング
別糸(作り目用)

<ゲージ> 10cm平方

メリヤス編み：16目×23段

<編み方>

- かぎ針10/0号を使って、別糸でくさり88目作ります。
- 作り目から「A色9目、B色9目、A色9目、蛍光色2目、A色9目、B色9目、A色9目、蛍光色2目、A色9目、B色9目、A色9目、蛍光色2目、A色1目」と88目拾います。これが1段目となります。
- メリヤス編みで『A色(9目)、B色(9目)、A色(9目)、蛍光色(2目)』を守って編んでいきます。
- 別糸をほどいて目を拾い、Lブラウンでガーター編みで編み、伏せ止めをします。
- 脇をすくいとじにします。
- Lブラウンでガーター編みとメリヤス編みで輪に編み、続いてガーター編みとメリヤス編みで衿ぐりを編みます。最終段は伏せ止めをします。
- 縁編みで袖ぐりを編みます。

目数リング ・ 段の最後の色の変わるところに入ると、次の段の続きの色の目数がわかりやすいです

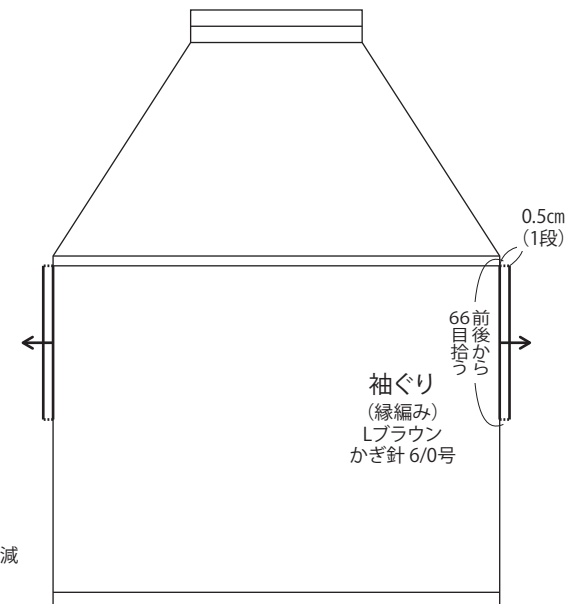
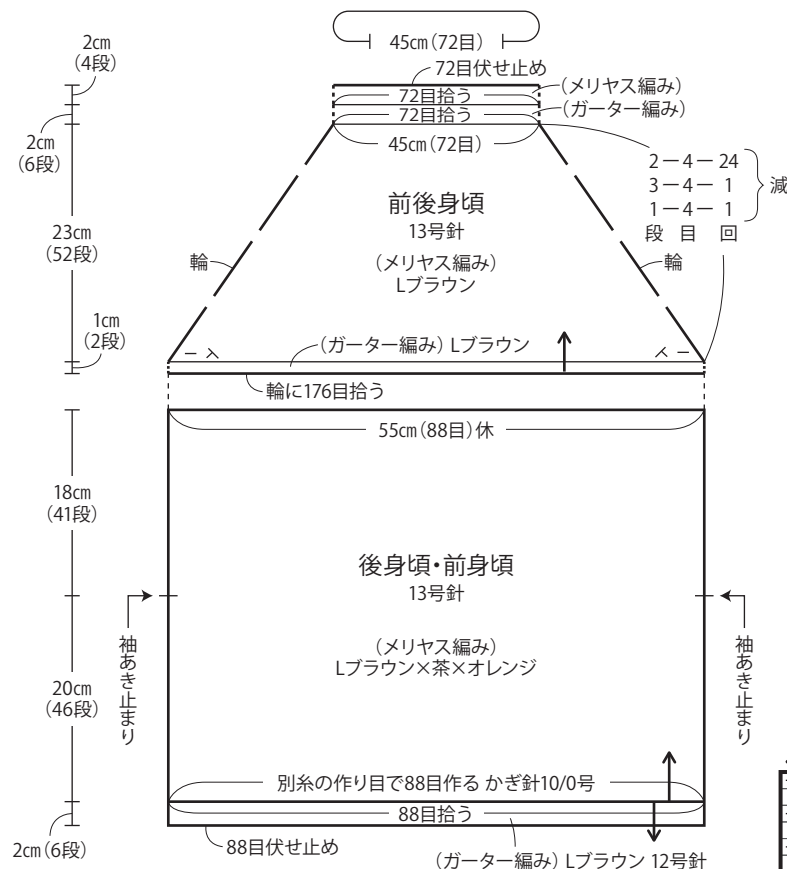
<マジックナンバーの特徴>

Checkedred チェック柄

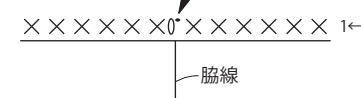
○この毛糸は1模様
A色(9目)、B色(9目)、A色(9目)、蛍光色(2目)の計29目になります。
この模様は1段ごとに1目ずつずらして編んでいくことで模様が斜めにずれていきチェック柄が浮かび上がります。

※ 1目ずらすために、模様の子数に「1目」を足した数が作

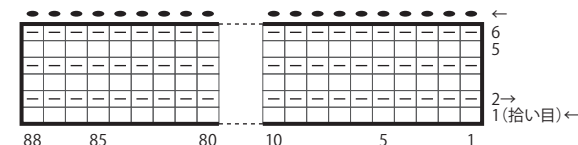
○この糸は「目数優先(柄優先)」で編み進むため、ゲージの目数は必ずしも合致しません。



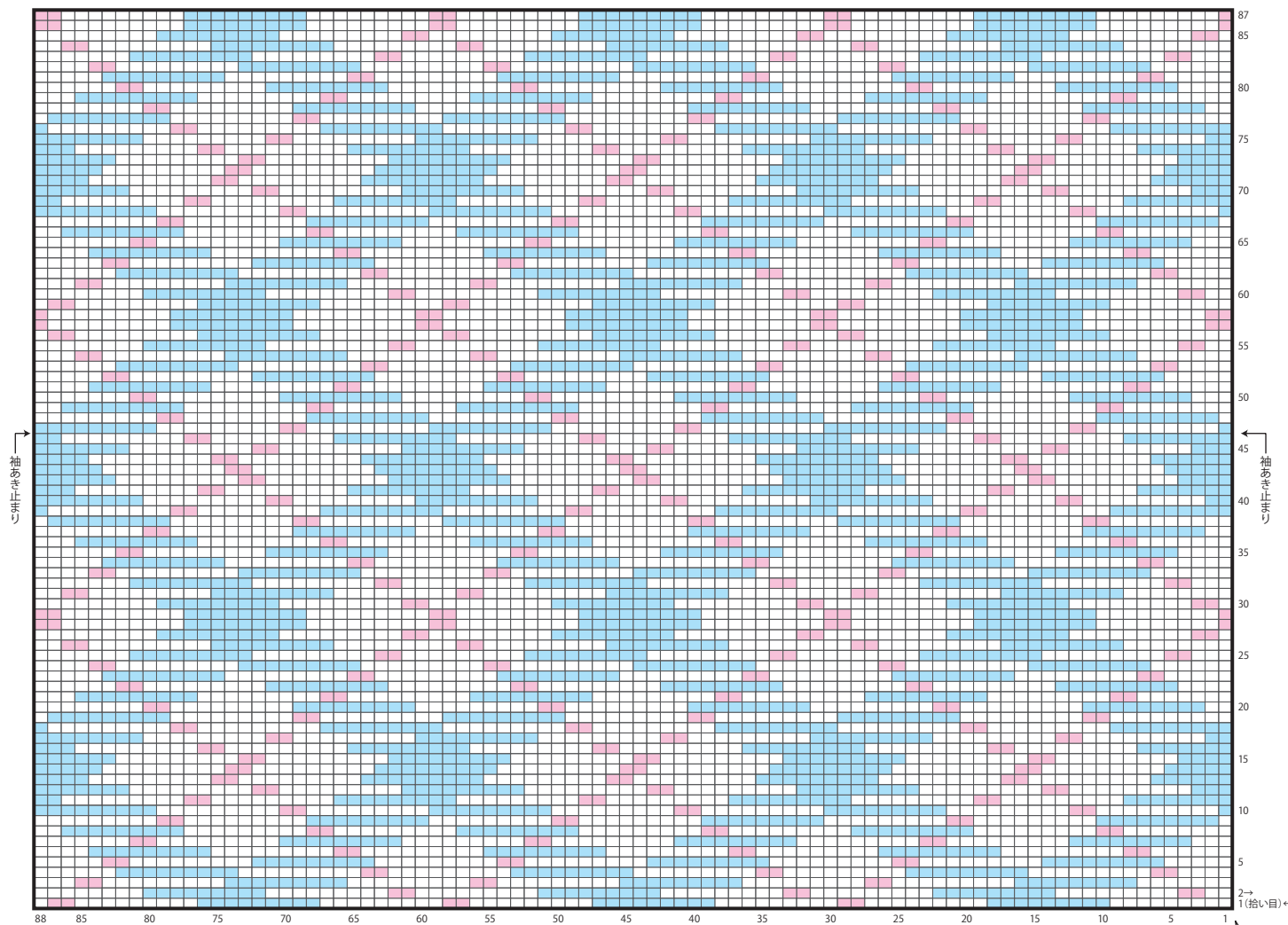
縁編みの編み方



裾のガーター編みの編み方



前身頃・後身頃の編み方



* 糸の編み始め位置 *



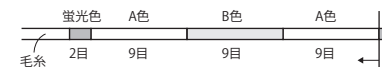
<マジックナンバーについて>

POINT ここがポイント

(1) マジックナンバーの編み方ポイント

この毛糸は色ごとに編む目数が決まっており、その目数を守って編むことで模様ができていきます。

毛糸は3色構成になっており、下記の目数を意識して編みます。



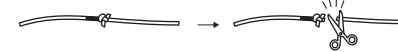
(2) 目数の合わせ方ポイント

2目を合わせるの比較簡単ですが、9目を編む場合は、慣れるまでは調整が必要になります。最初のうちは、9目にならなかった時は数目戻って、合わせるようにすることをおすすめします。手の強さは編む人によってそれぞれなので、針の号数や糸の引き具合で調整してください。半目ぐらいが隣の色になっても模様全体にはあまり影響しません。

(3) 糸に結び目や細い部分があった時

● 結び目があった場合

① 結び目のところでカットする。



② 色の順番をたしかめて、順番通りになるところで糸をつなぐときの要領で新しい糸をつけて編んでいく。



● 細い部分があった場合

細い部分が2cm前後でしたらカットせずそのまま編み進めて大丈夫です

※ 気になるようでしたら「● 結び目があった場合」と同様に、カットして糸をつなぎ、糸始末をしてください。

<編み目記号>

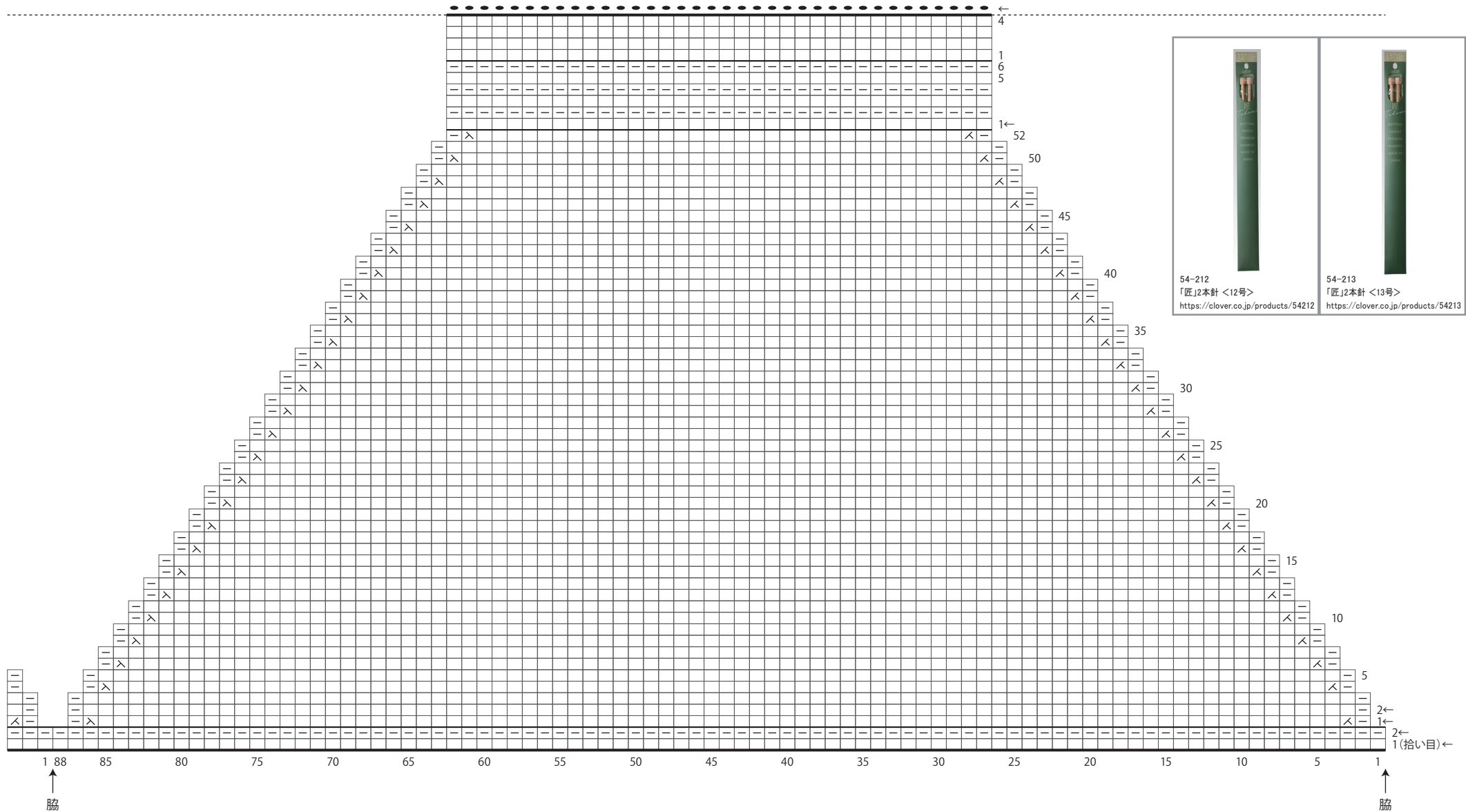
棒針編み

- = 表目 □ = A色
- ▢ = 裏目 □ = B色
- ⊠ = 右上2目1度 □ = 蛍光色
- ⊡ = 左上2目1度
- = 伏せ止め

かぎ針編み

- × = 細編み
- = 引き抜き編み
- ▲ = 糸を切る

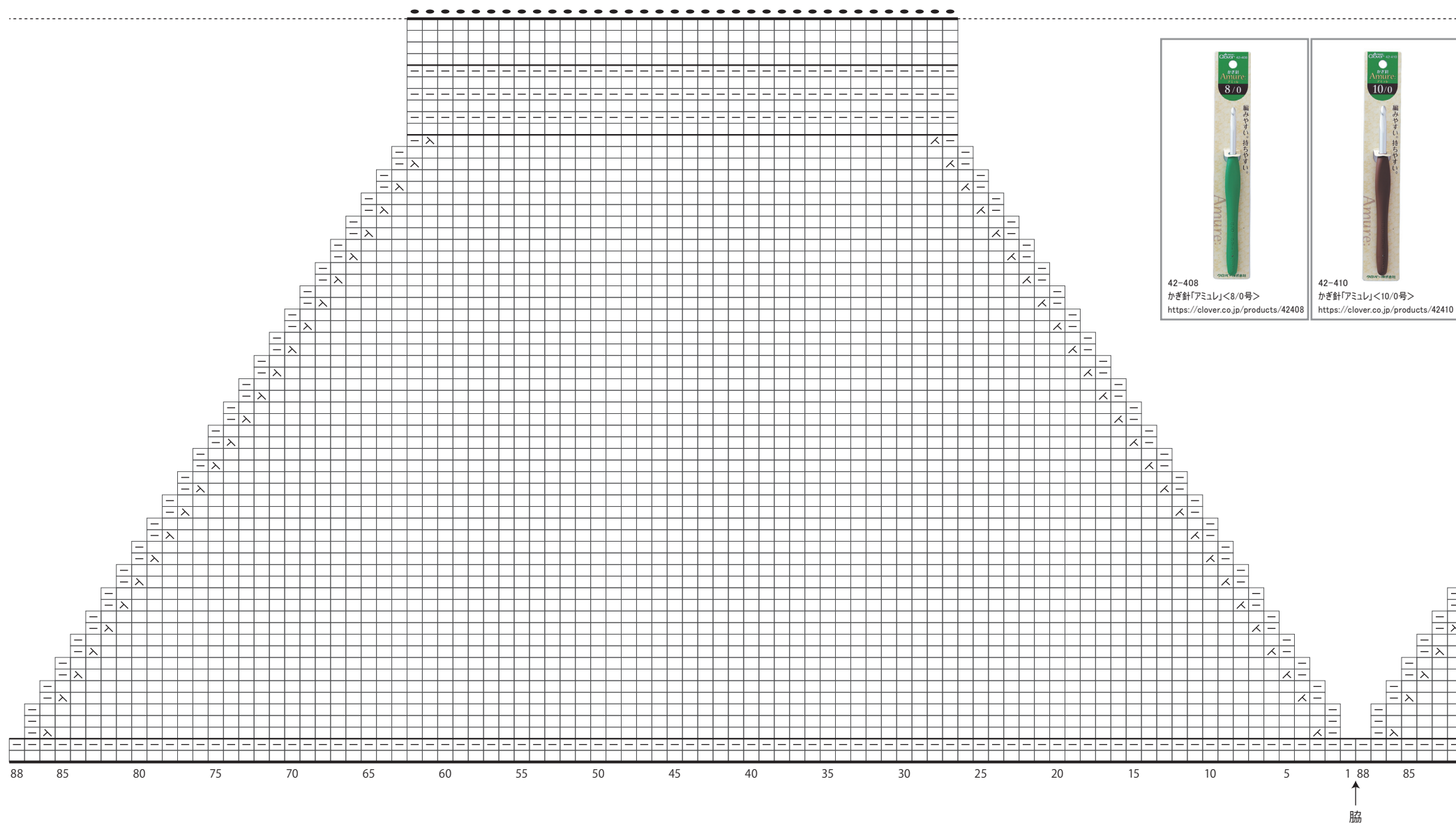
前後身頃の編み方



マジックナンバーで編むベスト 3-4

クローバー株式会社

前後身頃の編み方



マジックナンバーで編むベスト 4-4

クロバー株式会社